

広島市植物公園 見どころ案内

クロマツの雪吊り

雪に備えて、日本庭園のクロマツに雪吊りを設えています。**冬の風物詩**をお楽しみください。

ラケナリア (キジカクシ科)

南アフリカ原産の球根植物。
ムスカリやヒヤシンスのような穂状の花姿が特徴ですが、
花色や形は変化に富んでいます。

ポインセチア

(トウダイグサ科)

展示温室では赤と黄色のポインセチアでできた**巨大なクリスマスツリー**(展示は25日まで)、大温室では地植えの**大きく育ったポインセチア**をご覧ください。

★大温室で見頃の花 アンズリウム、スパティフィラム、オウコチョウ、シュロガヤツリ、タコノキ(実)、ピョウタコノキ(実)、トックリキワタ、コバノクマデヤシ(実)、カランセほか洋ラン各種、ブーゲンビリア、デビルフラワー、[カカオ、コショウ、ソーセイジノキ、ユーゲニア、メガカルバ、ゴレンシ、ホワイトサボテ(花も)、バナナ各種、パパイヤ(花も)、キミノパンジロウ、株立クジャクヤシ、コーヒーク(以上は実)]、ツンバエルギア、オオベニゴウカン、桃色イバー、ジャスミンム ノビレ、アリストロキア トリカウダタ、クレロデンドルム スプレンドス

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

2024年12月20日
通巻第644号

展示会のご案内

- ◇展示資料館展示室(~12/22)
人の暮らしを支える『植物と油』展
- ◇展示温室(~12/25)
クリスマス飾るフラワー展

ウラジロ (ウラジロ科)

正月飾りに用いられるシダ植物。
葉の裏側が白いのが名前の由来。
葉のつき方が左右対称なことから、
夫婦円満の縁起を担ぐことも。

キクタニギク (キク科)

和名は京都東山の菊溪の
菊の意味を持ち、別名アワ
コガネギクやアブラギクと
も呼ばれます。

アリドオシ、ヤブコウジ、マンリョウ

タチバナ (ミカン科)

日本に古くから自生している**ミカンの原種**。
500円硬貨の裏面に描かれており、長寿や繁栄につながる縁起の良い植物です。春先まで実は長く残ります。

ヒイラギ

斑入りダイダイ

(ミカン科)

正月飾りに用いる縁起物。
名前のダイダイから「代々」栄えるという縁起を担いでいます。展示している株は**実に斑が入る珍しい品種**です。

松竹梅 (しょうちくばい)

展示資料館周辺には、様々なマツ、タケ、ウメ(花は3月)を植栽しています。

❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❖
❖ 12/24, 1/11, 1/28 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❖